

[2] カンボジア

主要経済指標等 (2012年)

- 人口 1,486万人
- GN I 総額 134.03億ドル
- GN I 一人あたり 880ドル
- 経済成長率 7.3%
- 失業率 1.5%
- 対外債務残高 57.16億ドル
- 援助受取総額 (支出純額) 8.07億ドル
- D A C 分類 後発開発途上国
- 世界銀行分類 i/低所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対カンボジア援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2009 年度	71.76	106.61	47.42(44.46)
2010 年度	-	106.46	40.91(38.94)
2011 年度	114.30	65.22	46.83(42.67)
2012 年度	-	66.55	41.69(37.09)
2013 年度	88.52	74.58	39.40
累 計	515.73	1,697.17	753.14(713.08)

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDG s) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標 1 : 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	44.5%(1994)	18.6%(2009)
●目標 2 : 初等教育における純就学率	81.6%(1997)	98.2%(2011)
●目標 3 : 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数)	0.83人(1994)	0.95人(2011)
●目標 4 : 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり)	116.4人(1990)	39.7人(2012)
●目標 5 : 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり)	1,200人(1990)	250人(2010)
●目標 6 : 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値)	0.07人(2001)	0.01人(2011)
●目標 7 : 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	31.4%(1990)	67.1%(2011)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

カンボジアに対する我が国ODA概要

1. 概要

我が国のカンボジアに対する経済協力は 1959 年に始まり、これまでに技術協力、無償資金協力、有償資金協力や我が国初のPKO派遣等、カンボジアの復興から開発まできめ細かな支援を実施しており、カンボジア政府および国民から高い評価を得ている。我が国はカンボジアに対する最大の援助国 (累計ベース) である。

2. 意義

カンボジアでは、貧困削減と経済成長が進んでいるものの、依然としてASEAN地域でも貧しい国の1つである。また、過去の内戦の影響により多くの分野で人材不足が深刻である一方、若年層の割合が高く、更なる成長のポテンシャルを有している。我が国はASEAN地域の統合と域内格差是正を図る観点から、カンボジアおよび地域全体に対するODAを拡充する方針を表明。経済協力や投資協定により我が国企業の投資も増えている。

3. 基本方針

「着実かつ持続可能な経済成長と均衡のとれた発展」を目標に、カンボジア政府が掲げる「四辺形戦略」を基盤とする同国の開発目標達成を支援し、ASEAN統合、連結性の強化、域内の格差是正を図るとともに、人間の安全保障および環境の持続可能性を確保する。

4. 重点分野

(1) 経済基盤の強化

①経済インフラ整備: 交通網・港湾・電力供給システム・情報通信基盤の整備、物流システムの改善等、②民間セクター強化: 技術系人材や中間管理職など投資受入機関の機能強化および産業人材育成、③農業・農村開発: 農業セクターの振興、貧困農民の生計向上

(2) 社会開発の促進

①上下水道インフラの整備: 地方主要都市の上水道整備およびプノンペン都における下水道分野への支援、②保健医療の充実: 保健システム強化の視点も含めた母子保健分野を中心とした支援、③教育の質の改善: 理数科教育を通じた小・中学校教員研修の質の改善等、④対人地雷除去: 「2010-2019年地雷対策国家戦略」の目標達成に向けた支援

(3) ガバナンスの強化

①民法・民事訴訟法の普及・定着・適正な運用を図るための関連法案整備、司法関係者の能力強化支援、②公共財政管理、国税および関税分野の政策・制度改善・人材育成に資する支援

※注) 1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2009年~2012年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。()内はJICAが実施している技術協力の実績および累計となっている。

カンボジア

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細 (表-1の詳細)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2011 年度	114.30 億円 ・トンレサップ西部流域灌漑施設改修計画 (42.69) ・シェムリアップ上水道拡張計画 (71.61)	65.22 億円 ・ネアックルン橋梁建設計画 (国債 2/5) (29.02) ・カンボジア工科大学地圏資源・地質工学部教育機材整備計画 (0.56) ・国立、市及び州病院医療機材整備計画 (3.74) ・洪水対策支援計画 (15.10) ・ノン・プロジェクト無償(1件)(6.00) ・日本NGO連携無償(5件) (1.65) ・食糧援助 (WFP連携) (1件) (2.10) ・貧困農民支援(1件) (2.90) ・人材育成奨学計画(3件) (2.88) ・草の根・人間の安全保障無償(18件) (1.27)	・REDD+戦略政策実施支援プロジェクト [11.06~16.05] ・租税総局能力強化プロジェクト [11.09~15.07] ・カンボジア工科大学教育能力向上プロジェクト [11.10~15.10]
2012 年度	なし	66.55 億円 ・ネアックルン橋梁建設計画 (国債 3/5) (29.02) ・カンボジア工科大学施設機材整備計画 (5.96) ・シハヌーク州病院整備計画 (13.21) ・ラタナキリ州小水力発電所建設・改修計画 (12.06) ・日本NGO連携無償(6件) (1.94) ・人材育成奨学計画(3件) (2.76) ・草の根文化無償(1件) (0.10) ・草の根・人間の安全保障無償(21件) (1.50)	・民法・民事訴訟法普及プロジェクト [12.04~17.03] ・水道事業人材育成プロジェクトフェーズ3 [12.11~17.11] ・送変電システム運営能力強化プロジェクト [13.01~15.09]
2013 年度	88.52 億円 ・国道五号線改修計画 (バットバン-シソポン間) (88.52)	74.58 億円 ・ネアックルン橋梁建設計画(国債 4/5) (29.39) ・コンボンチャム及びバットバン上水道拡張計画 (国債 1/4) (10.37) ・第二次地雷除去活動強化計画 (8.98) ・アンコール・ワット西参道修復機材整備計画 (0.95) ・シハヌーク州病院整備計画 (追加分) (2.33) ・国道一号線改修計画 (国債 4/5) (0.17) ・国立母子保健センター拡張計画 (11.93) ・日本NGO連携無償(8件) (2.32) ・食糧援助 (WFP連携) (2件) (3.70) ・人材育成奨学計画(3件) (2.56) ・草の根・人間の安全保障無償(22件) (1.88)	・前期中等理科教育のための教師用指導書開発プロジェクト [13.05~16.03] ・中小企業支援体制の戦略的強化プロジェクト [13.06~15.06] ・シハヌークビル港コンテナターミナル経営・技術向上プロジェクト [13.06~16.05]
2013 年度 までの累計	515.73 億円	1,697.17 億円	753.14 億円(713.08 億円) 研修員受入 14,130 人 専門家派遣 4,631 人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2011 年度以降に開始され 2013 年 4 月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の [] 内は、協力期間。

表-3 我が国の対カンボジア援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦年	有償資金協力	無償資金協力	技術協力	合計
2009年	19.94	59.40 (0.06)	48.14	127.49
2010年	13.54	80.83 (1.21)	53.10	147.46
2011年	18.56	62.12 (14.67)	53.54	134.21
2012年	43.36	83.14 (8.95)	55.95	182.44
2013年	20.99	74.29 (5.64)	46.20	141.49
累計	170.32	1,362.92 (33.56)	758.39	2,291.64

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力を計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。()内は、国際機関を通じた贈与の実績(内数)。
2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額(有償資金協力については、カンボジア側の返済金額を差し引いた金額)。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表-4 諸外国の対カンボジア経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2008年	日本 114.77	米国 71.48	オーストラリア 39.03	フランス 35.23	韓国 34.65	114.77	461.66
2009年	日本 128.48	米国 70.25	オーストラリア 48.50	ドイツ 37.90	英国 32.73	128.48	479.70
2010年	日本 149.57	米国 86.39	オーストラリア 53.91	ドイツ 41.26	韓国 37.33	149.57	522.58
2011年	日本 136.53	米国 75.47	オーストラリア 71.55	韓国 62.23	ドイツ 49.24	136.53	539.59
2012年	日本 184.76	オーストラリア 100.93	米国 88.33	韓国 58.11	ドイツ 46.37	184.76	640.52

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対カンボジア経済協力実績

(支総純額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2008年	ADB Sp. Fund 140.88	IDA 38.95	GFATM 38.60	EU Institutions 37.46	UNDP 7.60	33.85	297.34
2009年	ADB Sp. Fund 86.98	GFATM 46.41	IDA 46.05	EU Institutions 43.08	UNDP 9.42	29.68	261.62
2010年	ADB Sp. Fund 71.40	GFATM 61.22	IDA 40.76	EU Institutions 27.31	UNDP 9.92	32.61	243.22
2011年	ADB Sp. Fund 126.79	GFATM 58.62	EU Institutions 52.55	IDA 43.76	GAVI 6.71	40.36	328.79
2012年	ADB Sp. Fund 75.19	IDA 45.97	EU Institutions 41.39	GFATM 15.11	UNICEF 6.32	32.83	216.81

出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 実施済および実施中の開発計画調査型技術協力案件(開発調査案件を含む)(開始年度が2009年度以降のもの)

案 件 名	協力期間
プノンベン首都圏環状道路整備計画調査	09. 4~10. 3
橋梁改善調査プロジェクト	12. 3~13. 3
プノンベン都総合交通計画プロジェクト	12. 3~14. 6
電子海図策定支援プロジェクト	13. 7~16. 3

出典) JICA

表-7 2013年度実施協力準備調査案件

案 件 名	協 力 期 間
地雷除去地域での綿花栽培事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)	12. 7~14. 4
農村部における生活用水給水システム事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)	12. 8~15. 7
プノンペン新港経済特別区・関連施設建設事業準備調査(PPP インフラ事業)	12. 9~13. 6
国道5号線(南区間)改修事業準備調査	12. 9~13.12
プノンペン首都圏送配電網整備事業準備調査	12.11~13. 8
農業機械化による収量拡大と農家の自立化支援事業準備調査(BOP ビジネス連携促進)	13. 3~15. 2
国道5号線改修事業(中央区間:スレアマーム-バットンバン間)準備調査	13. 4~14. 8
プノンペン都前期中等教育施設拡充計画準備調査	13. 5~14. 3
国立母子保健センター拡充計画準備調査	13. 7~14. 2
人材育成奨学計画準備調査	13. 7~14. 7

出典) JICA

表-8 2013年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案 件 名
バンテアイミアンチェイ州マライ郡ポイアンコール小学校及びクチャイ小学校建設計画
バンテアイミアンチェイ州モンコルボレイ郡プノントム中学校建設計画
プレイベーン州コンポントラバエク郡アンコールアン小学校建設計画
プレイベーン州コンポントラバエク郡タケオ中学校建設計画
コンボンチャム州ドーン灌漑施設改修計画
ポーサット州コンペイン灌漑施設改修計画(フェーズ2)
コンボンチャム州チューンプレイ病院総合病棟建設計画
シエムリアップ州バンテアイスレイ郡クンリヤム保健センター建設計画
バットンバン州国道5号線洪水対策計画
ブレアビビア州コンボンスロラウ・ムオイ船着場建設計画
ケップ州ケップ市及びダムナックチャンアー郡飲料水供給システム整備計画
コンボンチャム州カンミア郡及びパティエイ郡6小学校衛生施設整備計画
シエムリアップ州SC7灌漑用水路改修計画
バットンバン州モック・プーオン灌漑用水路改修計画
シエムリアップ州アンコール小児病院人工呼吸器設置計画
タケオ州プレイカバス中央病院内科・小児科病棟建設計画
プレイベーン州ピーリアン病院手術棟整備計画
保健センター整備を通じたコンボンスプー州母子保健改善計画
カンダール州コットム郡及びアンスノール郡3幼稚園建設計画
クラチェ州教員養成校整備計画
コンボンチュナン州チュロックタナオ小中学校整備計画
プノンペン郡ブレイク・コンプー中学校建設計画

主なプロジェクト所在図

カンボジア



〈カンボジア全国対象プロジェクト〉

- ㉘ 人材育成奨学計画(11)(12)
- ㉙ 貧困農民支援(11)
- ㉚ 国立、市及び州病院医療機材整備計画(11)
- ㉛ 人材育成奨学計画(13)
- ㉜ REDD+戦略政策実施支援プロジェクト(11)
- ㉝ 中小企業支援体制の戦略的強化プロジェクト(12)
- ㉞ 水道事業人材育成プロジェクト フェーズ3(12)
- ㉟ 前期中等理科教育のための教師用指導書開発プロジェクト(12)
- ㊱ アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト フェーズ3(12)

〈プノンベン周辺プロジェクト〉

- ㊲ ネアックルン橋梁建設計画(11)
- ㊳ 洪水対策支援計画(11)
- ㊴ コンボンチャム及びバタンバン上水道拡張計画(13)
- ㊵ 国道一号線改修計画(13)
- ㊶ 送変電システム強化プロジェクト(12)
- ㊷ ビジネスを指向したモデル農協構築プロジェクト(14)